

研究会の紹介

現在、以下の4つの研究会が活動中です。

- ・波動と地盤の複合場における地盤材料の取扱方法に関する研究会
- ・沿岸域における気候変動適応策に関する研究会
- ・波動モデル研究会
- ・地域研究活性化 WG

各研究会の詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://coastal.jp/about/working-group/>

2023年度 海岸工学論文賞および海岸工学論文奨励賞

【海岸工学論文賞】

講演番号 004

δ-SPH 法による水面波の高精度計算のための改良型圧力勾配項の提案
清水裕真・Khayyer Abbas・後藤仁志・杉本寛明

講演番号 092

護岸擁壁背後法面の陥没型被災に及ぼす地下水位勾配変動特性
内糸直樹・越智聖志・宮武 誠・加藤佑典・佐々真志・松田達也・鈴木崇之・
牛渡裕二・坪川良太・飯田泰成

講演番号 106

岸壁を対象とした越波浸水対策の簡易検討手法に関する考察
平山克也・濱野有貴

【海岸工学論文奨励賞】

講演番号 089

3D-DEM-MPS 法による孤立遡上波下の砂漣形成機構の検討
田崎拓海（共著者：原田英治・後藤仁志・芝 遼太）

講演番号 103

高潮・高波同時生起実験に基づく越波量に及ぼす潮位変動の影響の検討
松木謙太（共著者：甲田友里花・安田誠宏・平石哲也・森 信人・張 哲維）

講演番号 055

地形改変による瀬戸内海の流動変化
鹿島千尋（共著者：中谷祐介）



（企画セッション1）
土木学会CPD認定プログラム
JSCE23-1321 2.0単位

（1日目）
土木学会CPD認定プログラム
JSCE23-1324 6.0単位

（企画セッション2）
土木学会CPD認定プログラム
JSCE23-1322 2.0単位

（2日目）
土木学会CPD認定プログラム
JSCE23-1325 6.4単位

（企画セッション3）
土木学会CPD認定プログラム
JSCE23-1323 1.5単位

（3日目）
土木学会CPD認定プログラム
JSCE23-1326 6.5単位

次回から、海岸工学講演会の投稿システムおよび審査が大幅に変わります。内側の「海岸工学論文編集小委員会からのお知らせ」をご覧ください。

「第70回海岸工学講演会」のご案内 2023年11月15日[水]ー17日[金]

海岸工学講演会は、神戸市で第1回（1954年）を開催して以来、今回で70回となります。多数の参加者のもとで、多数の論文発表が行われ、活発でかつ有用な会議となっています。今回の発表数は200編で、京都テルサ（京都市）およびオンラインのハイブリッドで開催することになりました。つきましては、斯界の研究者、技術者の皆様方、また、今後の斯界を担う院生、学生の方々の多数のご参加をお願いいたします。なお、詳細については、海岸工学委員会のホームページ（<https://coastal.jp/>）をご覧ください。

- 主催：土木学会（担当：海岸工学委員会）
- 後援：国土交通省近畿地方整備局、京都府
- 期日：2023年11月15日（水）～17日（金）
- 会場：京都テルサ（京都市南区東九条下殿田町70）およびオンライン
京都テルサへのアクセス：JR 京都駅（八条口西口）より南へ徒歩約15分
（詳細は <https://www.kyoto-terrsa.or.jp/parking/> を参照）

●「海岸工学講演会 2023」のダウンロード版およびDVDについて

各論文の責任著者には、「海岸工学講演会 2023」のダウンロード版をお送りいたします。今年度からは、責任著者への「海岸工学講演会 2023」のDVDの郵送はありません。現地会場でのDVD販売もございません。

DVDをご希望の方は有料版をお申込みください。有料版のお申込みは、第70回海岸工学講演会への参加申し込みを済ませた方に限らせて頂きます。申し込みの詳細は海岸工学講演会ホームページ（<https://coastal.jp/>）をご参照ください。なお、DVDの発送は第70回海岸工学講演会終了後になります。

問合せ先：研究事業課 担当：那須 TEL：03-3355-3559

●発表時間：1題当たり発表時間12分、討議時間8分です。

●発表方法

オンラインでの発表：講演者は指定されたZOOMに接続し、画面共有して発表して頂きます。
現地会場での発表：講演者は会場に準備されたパソコン（PowerPoint 2016以降、OS: Windows 10以降、USBポートあり）を用いて発表して頂きます。その際、指定されたZOOMに接続し、画面共有して頂きます。質疑の手順の詳細は、海岸工学委員会ホームページ（<https://coastal.jp/>）をご確認ください。

【前日シンポジウム】

企画セッション 1

日時：2023年11月14日（火）15時00分～17時00分

場所：京都テルサ中会議室およびオンライン

テーマ：水理模型実験における地盤材料の取扱方法に関する研究小委員会 英語版書籍
出版シンポジウム

担当：波動と地盤の複合場における地盤材料の取扱方法に関する研究会

企画セッション 2

日時：2023年11月14日（火）15時00分～17時00分

場所：京都テルサ視聴覚研修室およびオンライン

テーマ：沿岸災害デジタルツインの構築と活用に向けて

担当：沿岸災害デジタルツイン小委員会

企画セッション 3

日時：2023年11月14日（火）15時00分～16時30分

場所：京都テルサ第1・第2セミナー室

テーマ：関連学会における沿岸域研究の動向と展望

担当：沿岸域研究連携推進小委員会

●海岸工学講演会および前日シンポジウムへの参加方法

それぞれの行事ごとに、土木学会ホームページの行事案内 (<https://www.jsce.or.jp/events/>)にて「海岸工学」で検索)から事前の登録が必要です。各行事の登録後、現地会場での参加は直接、会場へお越しください。オンラインでの参加については、開催までに参加方法をお知らせいたします。現地会場およびオンラインのどちらも参加無料です。

●問合せ先

土木学会研究事業課 那須 TEL：03-3355-3559

海岸工学委員会からのお知らせ

小委員会からのお知らせ

・海岸工学論文集編集小委員会

来年度から、海岸工学講演会の投稿システムおよび審査が大幅に変更になります。

これまでの第1段階審査は、講演会での発表の可否を審査する「発表審査」と改め、テキストのみでの審査となります。発表審査を通過し、土木学会論文集への論文の掲載を希望される場合は本論文原稿を提出して頂きます。提出された原稿については、これまでの第2段階審査と同様な「論文審査」を実施し掲載の可否を審査いたします。なお、論文審査はEditorial Manager®を用いた方式に変わります。そのため、zoomによる著者向けの説明会を1月中旬に予定しています（その録画も半年程度公開予定です）。海岸工学委員会 HP (<https://coastal.jp/>)にて、随時情報を開示させていただきます。

・CEJ小委員会

Coastal Engineering Journalは土木学会が編集し、Taylor & Francis社が発行する65年の歴史を有するIF2022=2.4のSCI国際ジャーナル誌です。原著論文に加えて現地調査報告などの投稿カテゴリーがあり、海岸工学に関わる幅広いテーマの研究を取り扱っています。2024年は「Progress of Ocean Wave Measurements」、2025年は「Interdisciplinary Exploration of Coastal Morphodynamics」に関する特集号を企画しています。海岸工学講演会では、CEJ投稿論文を本論文として講演することも可能です。詳細は以下のサイトをご覧ください。

<https://www.tandfonline.com/journals/tcej20>

・沿岸まちづくりにおける経済的手法研究小委員会

本小委員会では、今後予想される海面上昇と高潮・高波による被害の拡大に対応する最適な沿岸まちづくり施策について研究することを目的としています。令和2年7月に「気候変動を踏まえた海岸保全のあり方」が提言され、全国の海岸管理者が、過去のデータに基づきつつ気候変動による影響を明示的に考慮した海岸保全対策へ転換し、RCP2.6（2℃上昇に相当）を前提に、影響予測を海岸保全の方針や計画に反映させようとしています。本研究小委員会では、現時点の情報で整備を計画するのではなく、時点が進むことで明らかになる情報があることを想定したりアルオプション理論の適用の必要性について提言し、具体的な方法について議論・検討しています。詳細については、以下のサイトをご覧ください。

<https://coastal.jp/about/subcommittee/economical-method-subcommittee/>

・沿岸災害デジタルツイン研究小委員会

「沿岸災害デジタルツイン研究小委員会」は、沿岸環境を対象に物理世界と仮想世界（コンピュータ上）を連携させたサイバー・フィジカルシステム（Cyber-physical systems）を構築し、物理世界では時間的・コスト的に不可能といえるような様々な検討、設計、最適解探索を仮想世界で実行しそれを物理世界にフィードバックするという「デジタルツイン」のパラダイムを、土木工学、特に海岸工学に導入することを目的としています。本小委員会の活動は土木学会の令和5年度の重点研究課題としても認定されています。詳細については以下をご覧ください。

<https://coastal.jp/about/subcommittee/digitaltwin-subcommittee/>

・広報・出版・web開催小委員会

広報・出版・web開催小委員会では、海岸工学委員会のサイトで「海岸工学にまつわる本の紹介コラム」(<https://coastal.jp/info/books/>)を掲載しています。現在、26の書籍が紹介されています。ぜひご覧ください。

企業のみなさまへのお願いです。ダウンロード版およびDVDの「海岸工学講演会」に収録される業界案内、および講演プログラムの広告枠をご活用頂き、海岸工学講演会の開催により一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。